

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	リカバリーわくわく					公表日	令和7年 7月 11日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	・利用者が密集しすぎないように遊ぶスペースを分け、バランスをとっている。 ・怪我対策として柱や壁の角にクッションを貼りを行っている。	・利用人数が増加しているため、支援室以外のスペースを活用していく。 ・活動内容を少ないスペースでも楽しめるものに工夫していく。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	・トイレの便座横に手すりを設け肢体不自由児が使えるよう配慮している。	・肢体不自由児の対応について、より安全な支援を実施するためのインフラ整備や支援方法の考案が必要。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	・個室が2つあるため、体調不良時やパニック時などに個別対応が取れるようになっている。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	・日々の話し合いにて目標の確認や振り返りを実施している			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		・外部評価を実施していない。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	・社内研修や社外でのスキルアップにつながる研修に積極的に参加している。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	・モニタリング会議を開き、児発管以外の職員からの意見も吸い上げ利用者にとって何が最善かを協議している。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	・毎月職員全員で活動内容の話し合いを実施している。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		・曜日による偏りや活動内容のマンネリ化を防いでいる。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	・ヒヤリハットや保護者との連絡ノートのやり取りなどを記録して支援の改善に繋げている。			

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>			・自己選択、自己決定を意識した活動内容や支援方法(声掛け等)のプラスチックアップは続けていく
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援事業所へ訪問し情報共有を行った。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		・送迎時に今日の出来事や成長している点、課題となっている点などを保護者に伝え、また家庭での様子も聞き相手に情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>		・保護者のニーズに応じて実施していくたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		・保護者参観等を企画し、保護者間交流と事業所の支援の見える化を進めていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		・毎月支援の様子や利用者の様子をwebアルバムにして配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			・事業所内での訓練は実施していない。研修等へ参加することで対応力向上を図っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		・面談等で服薬状況やてんかん発作時の対応を確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		・身体拘束を実施している児童は1名。(実施記録と拘束解除に向けた話し合いも定期的に実施している)	